

HP用の研修レポート 第五支部のオンライン研修  
「佐渡 PR フォトグラファー 伊藤善行（ヨシユキ）氏の語る佐渡」



佐渡島の形はアルファベットの「Z」に似ています。南と北に平行してそびえる1000メートル級の山地とその間にはさまれた平野からなります。今回の研修で佐渡は『懐が深いぞ』と、参加された方は思ったのではないのでしょうか。金山、トキ、たらい船だけでない。

1月26日（木）14:00～16:00 に第五支部のオンライン研修「佐渡 PR フォトグラファー 伊藤善行（ヨシユキ）氏の語る佐渡」を実施しました。お申し込みは32名（非会員3名、会員27名、委員2名）で、当日は16名の方がライブ参加されました。

今まで観光で語られてきた以上の歴史、お祭、薪能、

神事、鬼太鼓、民謡、ジオパークを、講師・伊藤ヨシユキ氏が熱い思いで伝えられた佐渡のお話でした。『こんな所佐渡にあったんだ』というたくさんの発見がありました。

佐渡生まれ佐渡育ち、家業の旅館の運営やお客様のご案内に活躍されている講師・伊藤ヨシユキ氏は、皆さんを笑顔にする写真を179枚のスライドにされてお話されました。

お話にはアニメーションで「千と千尋の神隠し」の一部に出てくるたらい船のこと、北海道と佐渡は密接なつながりがある話、神社仏閣だけで佐渡には300以上あり、人口に対して多いのはなぜなのか、神社も多く薪能をする能舞台もある。さらにネイチャーの話、棚田が多い理由、トレッキングお客様が多く来るようになったきっかけ、サンゴ礁でないのになぜ海の色は

青いのか、たくさんの滝、トキだけでない野鳥、固有種の生き物と植物、陸と海の合わさった美しい自然、美味しい佐渡産の山や海の食べ物、お酒、山菜、米、佐渡の黒いダイヤと称されるフルーツ、ガストロノミーツアーの話、そしてスポーツ大会がいろいろ開催され、スポーツをしに来られる外国人客など、盛りだくさんのお話でした。Q&Aでは「佐渡島は「さどがしま」、「さどしま」、島をつけない「さど」、どちらで呼びますか、または使い分けていますか。」という質問などがあり、20項目ちかい質問にお答えいただきました。伊藤ヨシユキさんのパッションが伝わってくる佐渡の話から、私たちのガイドングにたいへん役立つものがたくさんあったと参加者からの感想がありました。

開催前の5日前、1月21日に佐渡島の金山を世界文化遺産に登録するため日本政府が再申請しました。私たちとしては登録されることを願い信じ、その前に佐渡の魅力をたくさん知り得ることが出来たのはよかったと思います。佐渡には深く心に感じる所があると思って頂けたと思います。

